

# 令和元年度 公共下水道事業会計決算の概要

《金額の単位は千円》

## 収益的収支の状況

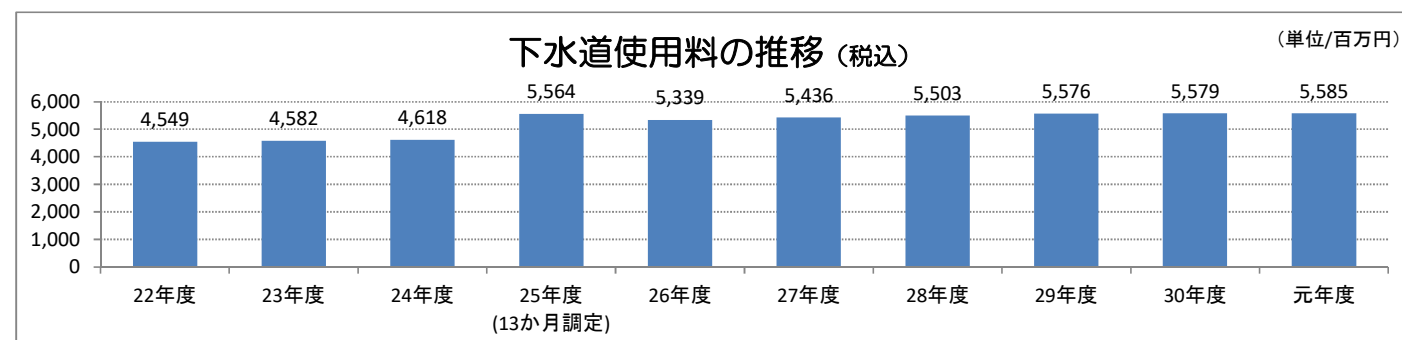
『公共下水道施設の維持管理など日常の事業活動に伴う収支』

収入 12,312,620 【税抜】11,866,585 (雨水) 3,431,922 (汚水) 8,880,698	(雨水)		(汚水)		その他 83,990 (0.9%)
	長期前受 金戻入 1,332,605 (38.8%)	一般会計繰入金 2,099,317 (61.2%)	下水道使用料 5,585,429 (62.9%)	長期前受戻入 2,693,314 (30.3%)	一般会計繰入金 517,965 (5.9%)
支出 12,142,643 【税抜】11,866,585 (雨水) 3,392,016 (汚水) 8,750,627	その他 80,612 (2.4%)		業務費・総係費 328,328 (3.8%)		その他
	固定資産減価償却費 及び除却費 2,404,465 (70.9%)	管渠、処理場の 維持管理経費 2,095,871 (24.0%)	固定資産減価償却費及び除却費 5,253,760 (60.0%)	企業債 支払利息 927,070 (10.5%)	
管渠、処理場の維持管理経費 469,321 (13.8%)		企業債支払利息 437,618 (12.9%)	145,598 (1.7%)		

＜雨水・汚水合算＞

収支区分	令和元年度	平成30年度	増減額	前年度比 (%)	説明
収入（事業収益）	12,312,620	11,901,856	410,764	3.5	【税抜】令和元年度 11,866,585
①下水道使用料	5,585,429	5,579,367	6,062	0.1	一般家庭新規接続分 22,805 大口使用者（上位20社）△19,943
②長期前受戻入	4,025,919	3,887,355	138,564	3.6	補助金等固定資産取得財源の減価償却見合い分の収益化額 （現金収入を伴わないため補てん財源とはならない）
③一般会計繰入金	2,617,282	2,394,553	222,729	9.3	うち分流式（赤字補てん分） 296,041
④国庫補助金	54,671	18,123	36,548	201.7	
⑤その他	29,319	22,458	6,861	30.6	指定工事店指定申請手数料 +2,685
支出（事業費）	12,142,645	11,774,453	368,192	3.1	【税抜】令和元年度 11,866,585
①管渠・処理場 管理費	2,565,192	2,181,597	383,595	17.6	マンホール改築工事 186,362
②業務費	250,843	202,561	48,282	23.8	共同住宅排水設備工事促進助成金 13,130(30件) 浄化槽公共下水道切替工事助成金 2,144(15件)
③総係費	198,004	175,074	22,930	13.1	事業計画等変更設計業務委託料 25,146 森地区管渠基本設計測量業務委託料 20,900
うち①～③の 人件費	225,047	250,814	△ 25,767	△ 10.3	正規33人(+1)、再任用2人(△1)、嘱託0人(△1)
④固定資産減価償 却費及び除却費	7,658,225	7,575,479	82,746	1.1	
⑤企業債支払利息	1,364,688	1,495,748	△ 131,060	△ 8.8	企業債残高の減少に伴うもの
⑥その他	105,693	143,994	△ 38,301	△ 26.6	課税仕入れの増加に伴う消費税の減 △40,054
純利益（消費税抜き）	0	0	0		令和元年度（税抜収入11,866,585 －税抜支出11,866,585＝0）

※一般会計からの基準内繰入（分流式）があるため、収支が均衡しています。



## 資本的収支の状況

『公共下水道施設の建設・改良などの投資にかかる収支』

収入 5,828,412 (雨水) 1,713,658 (汚水) 4,114,754	(雨水)		(汚水)		資本的収支不足額 1,111,766
	企業債 918,700 (53.6%)	資本的収支不足額 1,111,766	企業債 2,493,000 (60.5%)	国庫補助金 933,487 (22.7%)	一般会計繰入金 566,019 (13.8%)
支出 9,779,934 (雨水) 2,825,424 (汚水) 6,954,510	建設改良費 977,498 (34.6%)		企業債償還金 1,847,926 (65.4%)		建設改良費 2,946,744 (42.4%)
	企業債償還金 1,847,926 (65.4%)		建設改良費 2,946,744 (42.4%)		企業債償還金 4,005,241 (57.6%)
一般会計繰入金 474,821 (27.7%)		国庫補助金 320,137 (18.7%)		資本的収支不足額 2,839,756	
その他 122,248 (3.0%)		その他 2,525 (0.0%)			

＜雨水・汚水合算＞

収支区分	令和元年度	平成30年度	増減額	前年度比 (%)	説明
収入	5,828,412	5,213,752	614,660	11.8	
①企業債	3,411,700	2,724,100	687,600	25.2	建設改良費の増によるもの
②国庫補助金	1,253,624	796,879	456,745	57.3	建設改良費の増によるもの
③一般会計繰入金	1,040,840	1,572,437	△ 531,597	△ 33.8	
④その他	122,248	120,336	1,912	1.6	
支出	9,779,934	9,010,916	769,018	8.5	
①建設改良費	3,924,242	3,018,882	905,360	30.0	国庫補助金の交付決定額の増によるもの
うち①の人件費	343,641	322,976	20,665	6.4	正規41人(+3)、再任用4人(+1)
②企業債償還金	5,853,167	5,984,345	△ 131,178	△ 2.2	企業債残高の減少に伴うもの
③その他	2,525	7,689	△ 5,164	△ 67.2	基金積立金
資本的収支不足額（△）	△ 3,951,522	△ 3,797,164	154,358	4.1	

## 内部留保資金

	令和元年度	平成30年度	増減
① 前年度からの繰越額	1,130,040	1,196,583	△ 66,543
② 損益勘定留保資金等 （固定資産減価償却費及び除却費等）	3,702,194	3,730,621	△ 28,427
③ 当年度純利益	0	0	0
④ 当年度内部留保資金 （①+②+③）	4,832,234	4,927,204	△ 94,970
補てん			
⑤ 資本的収支不足額（△）	△ 3,951,522	△ 3,797,164	154,358
補てん後の残額			
⑥ 次年度への繰越額 （④+⑤）	880,712	1,130,040	△ 249,328

# 経営状況

## 1 処理状況

項目	令和元年度	平成30年度	増減	説明
処理区域内世帯 (世帯)	143,654	141,859	1,795	整備促進に伴う世帯、人口の増
処理区域内人口 (人)	304,243	303,149	1,094	
人口普及率 (%)	63.73	63.44	0.29	処理区域内人口 304,243人 / 行政区域内人口 477,393人
年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	42,354,115	42,262,354	91,761	1日平均汚水処理量 R1 : 115,722m <sup>3</sup> H30 : 112,157m <sup>3</sup>
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	33,048,774	33,076,902	△ 28,128	1日平均有収水量 R1 : 90,297m <sup>3</sup> H30 : 90,622m <sup>3</sup>
有収率 (%)	78.03	78.27	△ 0.24	年間有収水量 / 年間処理水量
水洗化率 (%)	92.66	89.13	3.53	水洗化人口 / 処理区域内人口

## 2 主な建設改良事業の実施状況 (単位/千円)

### ・管渠建設事業 (処理区別、汚水・雨水別実施状況)

- 中央処理区 1,061,603 (汚水 791,022 雨水 270,581)
- 穂田処理区 84,998 (汚水 70,941 雨水 14,057)
- 東部処理区 618,094 (汚水 494,749 雨水 123,345)
- 大在処理区 421,786 (汚水 332,442 雨水 89,344)
- 南部処理区 217,971 (汚水 180,615 雨水 37,356)
- 合計 2,404,452 (汚水1,869,769 雨水 534,683)

### ・処理場建設事業

- 弁天水資源再生センター汚泥処理棟受変電設備改築工事 194,400
- 小中島汚水中継ポンプ場主ポンプ等電気設備改築工事 97,333
- 宮崎水資源再生センター用水処理機械設備改築工事 96,972

## 3 財務状況

(単位/千円)

項目	令和元年度	平成30年度	増減額	説明
純利益 (消費税抜き)	0	0	0	
引当金残高	24,190	39,289	△ 15,099	
賞与引当金等	18,858	29,170	△ 10,312	令和2年度6月期末・勤勉手当のうち、令和元年度の負担に属する支給対象期間相当分 (12~3月) を計上
貸倒引当金	5,332	10,119	△ 4,787	債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上
内部留保資金繰越額	880,711	1,130,040	△ 249,329	
企業債残高	79,321,749	81,779,616	△ 2,457,867	借入額 : 3,395,300 償還額 : 5,853,167

## 4 経営指標

### (1) 使用料水準について

項目	大分市				増減	法適用 中核市54市 平均 (R1)	説明
	R1	(順位)	H30	(順位)			
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> )	156.86	20	157.18	18	△ 0.32	147.24	汚水処理費 (維持管理費 + 資本費) ÷ 年間有収水量 【有収水量1m <sup>3</sup> あたりの汚水維持管理費及び資本費の計】
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> )	155.50	24	156.18	21	△ 0.68	150.26	使用料収入 ÷ 年間有収水量 【有収水量1m <sup>3</sup> あたりの使用料収入】
1ヶ月20m <sup>3</sup> あたり 使用料 (円)	2,791	21	2,741	18	50.00	2,583	(税込額)

### (2) 収益性・安定性について

項目	大分市				増減	法適用 中核市54市 平均 (R1)	説明
	R1	(順位)	H30	(順位)			
総収支比率 (%)	100.00	51	100.00	44	0.00	109.29	(総収益 / 総費用) 100%超の場合は利益、100%未満は損失となる
経常収支比率 (%)	100.00	51	100.03	46	△ 0.03	109.23	(営業収益 + 営業外収益) / (営業費用 + 営業外費用) 経常費用がどの程度経常収益によって賄われているかを示す